
茅ヶ崎市環境事業センター
粗大ごみ処理施設整備・運営事業
落札者決定基準
(案)

令和4年 月

茅ヶ崎市

茅ヶ崎市環境事業センター粗大ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準
目 次

第1 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	6
第4 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5 提案書に関するヒアリング	10
第6 審査結果等の公表	11

第1 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

茅ヶ崎市環境事業センター粗大ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本件事業」という。）を実施する事業者は、粗大ごみ処理施設の設計・建設及び運営・維持管理に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「茅ヶ崎市環境事業センター粗大ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、茅ヶ崎市（以下「市」という。）が本件事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本件事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、3 頁の図に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

市は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

茅ヶ崎市粗大ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 提案書の定量化審査

委員会は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

市は、入札書に記載された入札価格が設計・建設業務と運営維持管理業務の何れも入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札価格が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

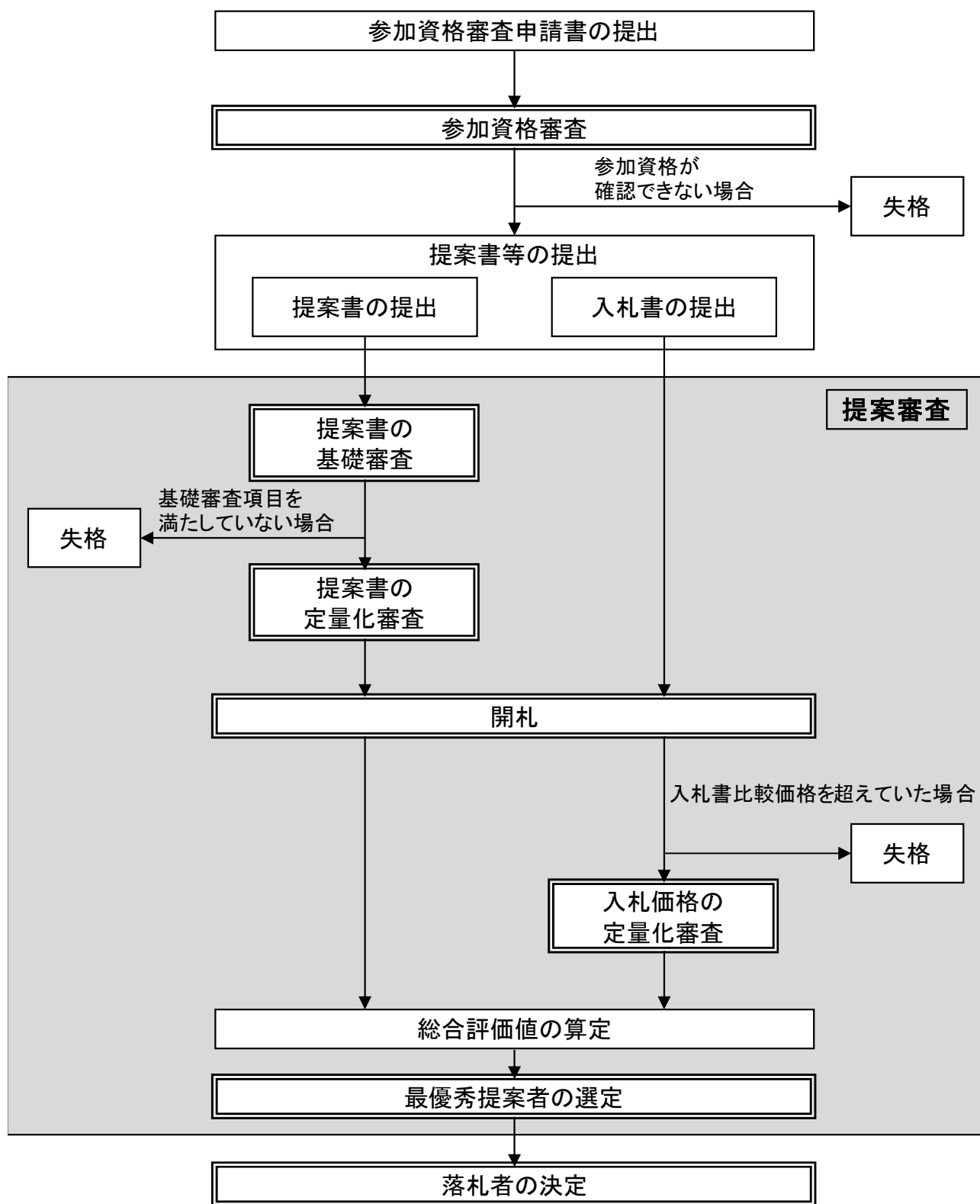
委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

キ 落札者の決定

市は、委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※委員会の事務は図中網掛け部分（開札は除く）

図 1－1 落札者決定の手順

第2 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3 入札参加に関する条件等」(P.6～9)を参照のこと。

第3 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、事業期間にわたって各施設を「適正な処理を行うことができる施設」、「資源循環型社会形成を促進する施設」、「最終処分量の削減に寄与する施設」、「安全で安心して運転ができる施設」、「あらゆる災害や危機に対応できる施設」、「快適で安全な生活環境を守る施設」、「ごみや資源物を経済的・効率的に処理する施設」といった7つの基本方針に配慮した施設整備及び運営を行うことの必要性・重要性を勘案し、市が本件事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、市が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4 提案書の定量化審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

審査事項	審査項目										配点
	大項目	本件事業の基本方針							No.	小項目	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
1 設計・建設及び運営・維持管理業務に関する事項											47点
	(1) 配置動線計画	●			●				1	屋外配置動線	4点
		●			●				2	屋内配置動線	3点
	(2) 施設性能	●			●	●		●	3	処理システム	4点
					●	●			4	安定稼働対策	4点
			●	●				●	5	資源物等回収	3点
	(3) 安全対策	●			●	●	●		6	事故等対応	4点
					●	●	●		7	安全性確保	3点
	(4) 環境・周辺配慮	●	●				●	●	8	環境保全	3点
							●		9	デザイン及び景観	3点
	(5) 運営管理	●			●	●	●	●	10	運営体制・人員配置	3点
		●		●	●		●	●	11	搬入受付	3点
		●		●	●		●	●	12	運転管理	3点
			●		●		●		13	見学者対応	3点
	(6) 維持管理	●			●		●	●	14	点検・検査・補修・更新	4点
2 事業計画に関する事項											10点
	(1) 事業収支計画	●			●			●	15	事業収支計画	3点
	(2) リスク管理計画	●			●	●			16	リスク管理計画	3点
	(3) 地域貢献				●		●	●	17	地域貢献	4点
3 本件事業全体に関する事項											3点
	(1) 自由提案	●	●	●	●	●	●	●	18	自由提案	3点
4 入札価格に関する事項											40点
	(1) 入札価格										40点

【本件事業の基本方針】

- ① 適性な処理を行うことができる施設
- ② 資源循環型社会形成を促進する施設
- ③ 最終処分量の削減に寄与する施設
- ④ 安全で安心して運転できる施設
- ⑤ あらゆる災害や危機に対応できる施設
- ⑥ 快適で安全な生活環境を守る施設
- ⑦ ごみや資源物を経済的・効率的に処理する施設

(2) 事業提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の 5 段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.00

イ 各審査項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式①【事業提案の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) = \frac{\sum (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数 (5名)}}$$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札価格が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格（様式集、様式第14号に記載する金額をいう。）について、次の算定式②により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式②【入札価格の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40\text{点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式③【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right)$$

第4 提案書の定量化審査において審査する点

委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。なお、各項目については、審査の視点に対して、各入札参加者の過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点

審査事項	審査項目										審査の視点	配点	
	大項目	本件事業の基本方針							No.	小項目			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦					
1 設計・建設及び運営・維持管理業務に関する事項												47点	
	(1) 配置動線計画	●			●				1	屋外配置動線	・ 環境事業センター内の各施設の円滑な連携が期待できる施設配置や、敷地全体の動線計画の計画性と妥当性を期待する。 ・ 車両と車両、車両と人に対する安全確保、不要な周回を必要としない車両動線や直接搬入車等にも分かりやすい場内誘導・サイン計画の構築、年末等の繁忙期における車両集中対策について、設計面からの創意工夫を期待する。 ・ 直接搬入車の動線について、安全かつ円滑に計量、荷下ろし、料金徴収ができるように計画性と実効性を期待する。	4点	
		●			●				2	屋内配置動線	・ プラットホームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。 ・ 施設全体を通して各諸室や機器の配置について、安全面、運転・維持管理面等から計画性と妥当性を期待する。	3点	
	(2) 施設性能	●			●	●		●	3	処理システム	・ 受入対象物について、種類に応じた適切な処理システムの構築を期待する。 ・ 多量に処理対象物が搬入される時期において、適切な処理が継続できる処理能力、処理条件の設定について、計画性と妥当性を期待する。 ・ 物質収支に応じて各設備が適切な処理能力、性能を有する計画性と各搬出物の貯留量、搬出頻度の設定に対する妥当性を期待する。	4点	
					●	●			4	安定稼働対策	・ 安定稼働に向けた取り組みとして、設備構成、設置基数(予備機)、最新技術の採用等について、設備面での充実に期待する。 ・ プラントの中枢となる設備や動作環境の厳しい設備については、過去の故障事例等を踏まえ、耐久性の向上や故障防止対策を講ずるなど、施設の安定稼働に配慮した強靱なシステムの構築を期待する。	4点	
			●	●				●	5	資源物等回収	・ 金属類の資源化量の最大化に期待する。 ・ 本件施設で選別・回収する金属類の品質確保(純度、回収方法等)について、設計面及び運営・維持管理面からの計画性と妥当性を期待する。 ・ 最終処分量を最小化するため、本件施設から生じる破碎残渣の削減、処理不適物等の更なる資源化に向けた取り組みについて、設計面及び運営・維持管理面からの計画性と実効性を期待する。	3点	
	(3) 安全対策	●			●	●	●		6	事故等対応	・ 火災、爆発及び設備機器の損傷を防止するための事前・事後対策(リチウムイオン電池等対策を含む)について、設計面及び運営・維持管理面からの計画性と妥当性を期待する。 ・ 地震等の予期せぬ災害の発生時における、本施設の被害の最小化について、設計面及び運営・維持管理面からの計画性と妥当性を期待する。	4点	
					●	●	●		7	安全性確保	・ 施設利用者及び作業員に対する通常時及び災害時の安全確保に対して、設計面及び運営・維持管理面からの計画性と妥当性に期待する。 ・ 施設内における作業環境(夏季の暑さ対策等を含む。)の確保について、計画性と妥当性を期待する。	3点	
	(4) 環境・周辺配慮	●	●					●	●	8	環境保全	・ 各公害防止基準を満足するための方策の実効性及び経済的・効率的な環境負荷低減策を期待する。 ・ 本件施設における有効な省エネルギー対策について、設計面、運営・維持管理面の取り組みの計画性と実効性を期待する。 ・ 本件施設における温室効果ガスの最小化及び抑制方策の実効性を期待する。	3点
								●		9	デザイン及び景観	・ 本件施設のデザイン及び景観計画に際して、関係法令等を遵守するとともに、建物及び付帯施設、敷地について、周辺環境との融和に配慮した施設を設計・建設することを期待する。 ・ 敷地全体の緑化計画について、関係法令等を遵守するとともに、周辺環境に調和した計画の実効性を期待する。 ・ デザインコンセプトが明確であり、コンセプトの設定根拠とデザインとの整合性を期待する。	3点
	(5) 運営管理	●			●	●	●	●		10	運営体制・人員配置	・ 本件事業の組織体制及び運転管理体制において、各々の役割分担が明確であり、必要かつ十分な人員配置計画の妥当性を期待する。 ・ 必要な資格者が確保され、持続可能な運営・維持管理が図られることを期待する。 ・ 建設事業者や運営事業者(SPC及び運転管理会社等)の事業者間で生じる可能性ある責任所掌などの協議事項について、適切な協議ルールや責任分界の設定について実効性と妥当性を期待する。	3点
		●		●	●		●	●		11	搬入受付	・ 搬入受付が効率的かつ円滑に行えるように、設計面及び運営・維持管理面からの計画性と実効性を期待する。 ・ 処理不適物や危険物の除去等を目的とした搬入管理の徹底について、実効性と妥当性を期待する。 ・ 既設計量棟も含めた搬入出データの管理について、設計面と運営・維持管理面から計画性と実行性を期待する。	3点

【本件事業の基本方針】

- ① 適性な処理を行うことができる施設 ② 資源循環型社会形成を促進する施設 ③ 最終処分量の削減に寄与する施設 ④ 安全で安心して運転できる施設
⑤ あらゆる災害や危機に対応できる施設 ⑥ 快適で安全な生活環境を守る施設 ⑦ ごみや資源物を経済的・効率的に処理する施設

【審査の視点に示す用語の定義】

審査の視点に示す用語の定義は、以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する。

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する。

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する。

審査事項	審査項目										審査の視点	配点		
	大項目	本事業の基本方針											小項目	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦						
		●		●	●		●	●	12	運転管理	- 搬入量の変動に対する安定的な処理について、運営・維持管理面の計画性と実効性を期待する。 - 性能保証事項(処理能力、品質、公害防止基準等)の運転監視方法(常時及び定期測定)に対し、計画性と妥当性を期待する。	3点		
				●	●		●		13	見学者対応	- 見学者に配慮した見学通路・配置等が構築され、施設への理解の向上と円滑な見学対応が可能な見学ルート、引率・説明手順が構築されることを期待する。 - 持続的な資源循環のため、3Rの理解を深める分かりやすい見学内容、啓発設備を期待する。 - 見学内容、啓発設備に対し、社会の変化に即応した対処や方策に期待する。	3点		
	(6) 維持管理	●			●		●	●	14	点検・検査・補修・更新	- 本件施設の基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新について、計画性と妥当性を期待する。 - 予防保全を踏まえた維持管理計画書等を作成し、遵守するとともに、運営・維持管理期間を通して、安定した運転管理及び維持管理の実効性を期待する。 - 事業期間中の効率的な更新整備や保全管理を充実するストックマネジメントの考え方に基づいた施設の長寿命化対策について、計画性と実効性を期待する。 - 事業終了後10年間(本件施設は30年間の稼働を目指す)の運営・維持管理コスト抑制のための方策について、妥当性を期待する。	4点		
2 事業計画に関する事項											10点			
	(1) 事業収支計画	●			●			●	15	事業収支計画	- 事業期間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 - 長期にわたる事業継続性の担保、運営事業者の財務リスクの最小化に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。	3点		
	(2) リスク管理計画	●			●	●			16	リスク管理計画	- リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響の極小化を可能とするリスク管理方針及び管理体制の構築を期待する。 - 必要かつ十分なセルフモニタリング(事業計画のモニタリング)の内容及び頻度を期待する。	3点		
	(3) 地域貢献				●		●	●	17	地域貢献	- 本件事業の実施に関して地元企業の活用と現地調達への配慮について計画性と実効性を期待する。 - 本件事業の実施に関して地元雇用への配慮について計画性と実効性を期待する。 - 地域への社会的貢献策及び周辺住民との信頼関係の発展に向けた取り組みの実効性を期待する。	4点		
3 本件事業全体に関する事項											3点			
	(1) 自由提案	●	●	●	●	●	●	●	18	自由提案	本件事業をより良い事業とするため有効な提案の計画性と実効性を期待する。	3点		
4 入札価格に関する事項											40点			
	(1) 入札価格										40点			

【本件事業の基本方針】

- ① 適性な処理を行うことができる施設 ② 資源循環型社会形成を促進する施設 ③ 最終処分量の削減に寄与する施設 ④ 安全で安心して運転できる施設
⑤ あらゆる災害や危機に対応できる施設 ⑥ 快適で安全な生活環境を守る施設 ⑦ ごみや資源物を経済的・効率的に処理する施設

【審査の視点に示す用語の定義】

審査の視点に示す用語の定義は、以下のとおりである。
「計画性」： 課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する。
「実効性」： 求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する。
「妥当性」： 提案内容そのものが適切かどうかを判断する。

第5 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。